



DACS-9600KWF

Wi-Fi接続説明書

DACS

目次

1	Wi-Fi接続の概要	1
2	設定手順	2
	2. 1 パソコンと無線LANで仮接続	3
	2. 2 接続設定ファイルの編集	5
	2. 3 設定実行	7
3	動作確認	8
	3. 1 hostsファイルの編集	8
	3. 2 動作確認	9
4	初期状態（出荷時の状態）に戻す	10

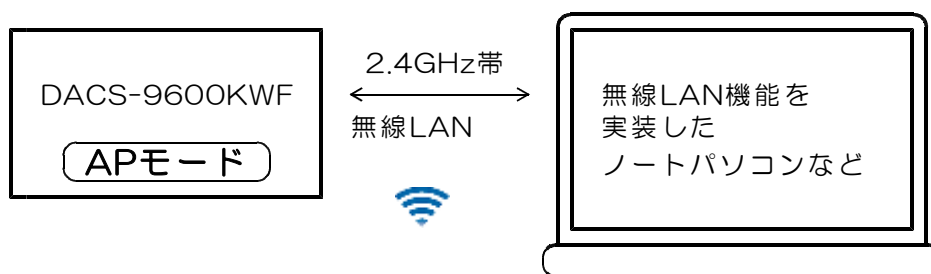
1. Wi-Fi接続の概要

DACS-9600KWFシリーズは 2.4GHz帯の無線LANで、パソコンなどのホストと接続します。接続形式は、① APモード（アクセスポイントモード）と、② 端末モードの2種類があり、どちらか一方のモードを選択して使用します。

（1）APモード（アクセスポイントモード）

無線LAN機能を実装したノートパソコンなどと、直接に接続する簡易接続モードです。APモードでは、無線LANルータなどの設備は必要ありません。

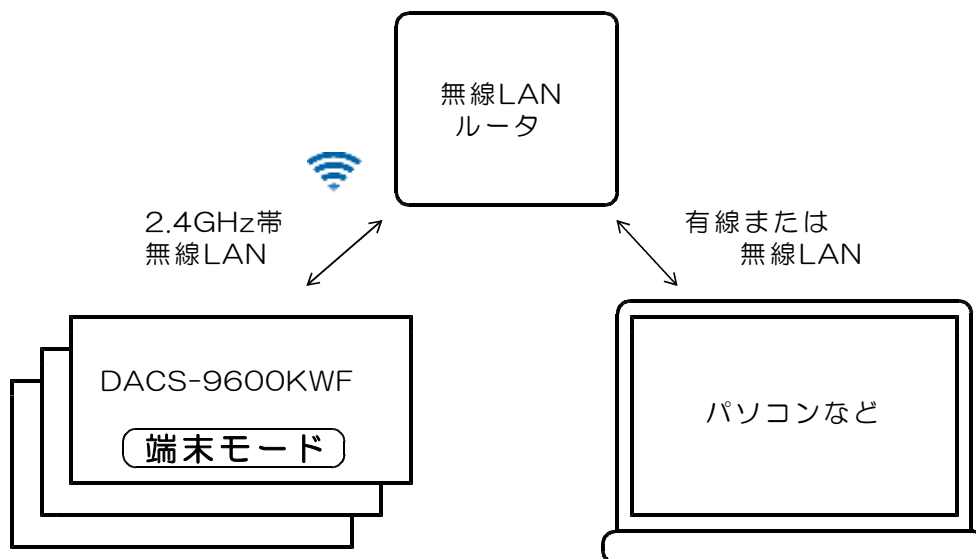
（注）1台のDACS-9600KWFに同時に接続可能なのは、端末1台のみです。別のパソコンに接続を切替えるには、接続していたパソコンをシャットダウンするなどで、Wi-Fi接続を切断する必要があります。



（2）端末モード

無線LANルータなどがある環境で使用する、一般的な接続モードです。無線LANルータに有線または無線LANで接続しているパソコンと接続して使用します。

1台のパソコンに、複数台のDACS-9600KWFを同時接続することができます。この逆に、複数台のパソコンを、同じDACS-9600KWFに同時接続することはできません。

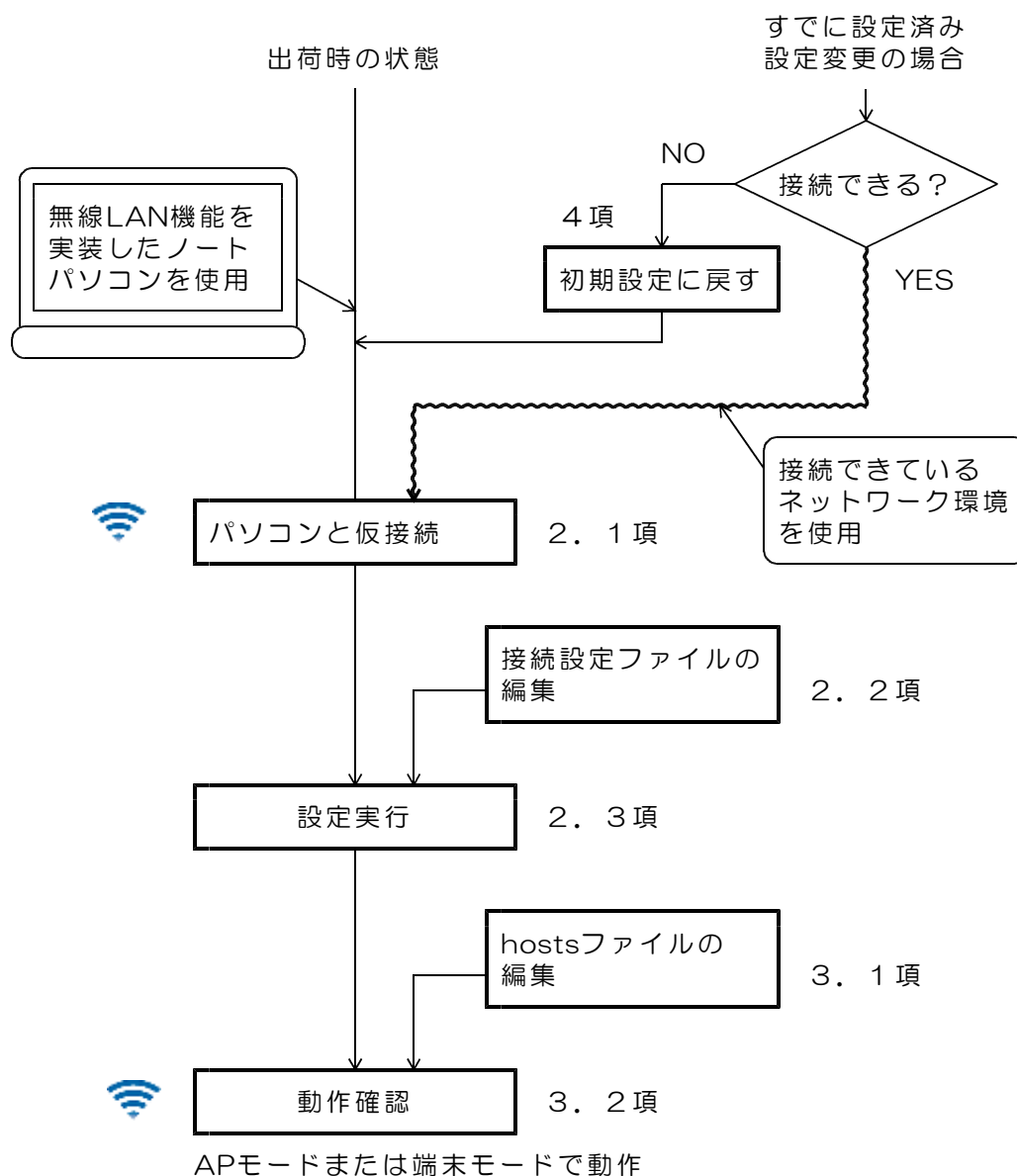


接続可能な台数は無線LANルータにより制限されます。

2. 設定手順

設定を開始するにあたって、あらかじめ弊社HPのダウンロードページから、サンプルプログラムなどを収録したファイルをダウンロードしておいてください。

DACS-9600KWFシリーズは 初期状態では APモードで動作します。



以下の説明は、DACS-9600KWF が 出荷時の初期状態 となっている場合です。初期状態でない場合は、設定操作をする前に、4項の「初期状態に戻す」操作をご確認ください。

2. 1 パソコンと無線LANで仮接続

接続できているネットワーク環境がある場合は、
(2) 項へ進んでください。

(1) 初期設定での接続

DACS-9600KWF の電源を入れて、緑色のランプが、毎秒2回程度の規則的な点滅となるまで、数秒間、待ってください。パソコンとAPモードで接続します。

パソコン側の無線接続設定

SSID	DACS9600KWF	すべて半角
セキュリティキー	DACS9600KWF	すべて半角
セキュリティの種類	WPA2-パーソナル	
暗号化の種類	AES	

Windows10パソコンで、上記の内容を次の手順で設定します。

- ① コントロールパネル --> ネットワークとインターネット
--> ネットワーク共有センター の順に開きます。
- ② 新しい接続またはネットワークのセットアップをクリック
- ③ 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択し、次へ。
- ④ 下記画面でネットワークの情報を入力します。次へ進めて、設定を完了します。

ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

追加するワイヤレス ネットワークの情報を入力します

ネットワーク名(E): DACS9600KWF

セキュリティの種類(S): WPA2-パーソナル

暗号化の種類(B): AES

セキュリティキー(Q): DACS9600KWF 文字を非表示にする(H)

この接続を自動的に開始します(I)

ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する(O)

警告: 選択すると、このコンピュータのプライバシーが危険にさらされる可能性があります。

次へ(N) キャンセル

- ⑤ 再び、コントロールパネル --> ネットワークとインターネット の順に開き、ネットワークと共有センターの下部にある、「ネットワークに接続」をクリックします。
接続先の一覧が表示されますので、DACS9600KWF を選択して、接続をクリックします。

パソコン起動後の再接続について
使用するパソコンが、他のネットワークにも接続されている場合、自動接続と設定していても、自動的に再接続されません。この場合は、パソコン起動後に、⑤項の操作が必要となります。

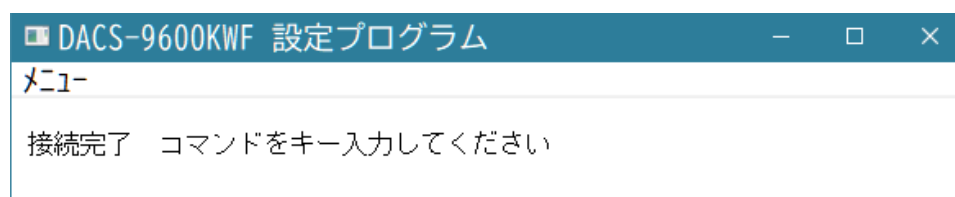
(2) 設定用実行ファイルのコピー

弊社HPのダウンロードページにてダウンロードしたファイルから、下記フォルダにある「設定用実行ファイル」をパソコンのCドライブなどにコピーしてください。

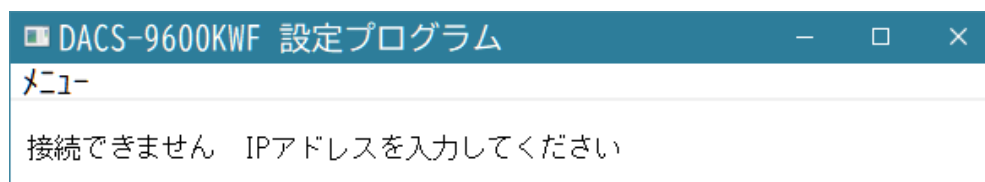
設定用実行ファイルを収納したフォルダ `dacs9600KWF_DIO`
設定用実行ファイル名 `D96KWFCOL.exe`

(3) 接続の確認

設定用実行ファイル `D96KWFCOL.exe` を起動します。
接続ができていれば、数秒後に、次のような画面になります。



D96KWFCOL.exe は、次の (1) (2) (3) の順序で接続を試みます。
(1) 初期設定で接続 (2) ホスト名 DACS9600KWF で接続
(3) IPアドレス (例 192.168.0.40) をキー入力して接続。
下記の画面になるときは、設定済みのIPアドレスをキー入力してください。



ふたたび同様の画面となり、接続ができないときは、プログラムを終了し、4項の初期状態に戻す操作をして後、接続を再試行してください。

続いて、通信が可能となっているかどうかを確認するため、`W0000000` (半角で、Wは大文字、その後ゼロが7個とEnterキー) と入力して、デジタル入出力の実行を行ってみます。
次のような応答があればOKです。受信データのR以下の内容は、デジタル入力の接続状況により異なります。



プログラムを終了してください。
DACS-9600KWF の電源を切ってください。これで接続が完了しました。

2. 2 接続設定ファイルの編集

弊社HPのダウンロードページにてダウンロードしたファイルから、次のフォルダにある「設定ファイル」を、2. 1項でコピーした「設定用実行ファイル」と同じフォルダにコピーしてください。

設定ファイルを収納したフォルダ `dacs9600KWF_DIO`
設定ファイル（サンプル）

APモード用	<code>DACS9600KWF_AP.col</code>
端末モード用	<code>DACS9600KWF_ST.col</code>

(1) APモードで使用する場合

APモード用ファイル `DACS9600KWF_AP.col` のファイル名を、`DACS9600KWF.col` に変更します。

ファイルの内容をメモ帳などのテキストエディタで編集し保存します。

データ	コメント	
1	AP 1 / STA 2	行数とデータの行位置は変更しないでください。 各行の後半はコメントです。データとコメントとは、1個以上のスペースで分離しています。 各行のデータには、先頭から終了位置まで、スペースを含めないでください。 コメント欄の記述は自由です。
<u>DACS9600KWF</u>	SSID	
<u>DACS9600KWF</u>	Passphrase	
0	DHCP 0 / Static 1	

- | | |
|-----|---|
| 1行目 | APモードを指定します。1のまま変更しないでください。 |
| 2行目 | SSIDを指定します。DACS-9600KWFを1台のみ使用する場合は、そのままでもかまいません。2台以上使用する場合は、任意に変更してください。
8文字以上16文字以下の半角英数字で指定してください。
大文字/小文字を区別します。
指定したSSIDは、パソコンの無線接続設定時に必要となります。 |
| 3行目 | セキュリティキーを指定します。8文字以上16文字以下の半角英数字で指定してください。大文字/小文字を区別します。
指定したキーは、パソコンの無線接続設定時に必要となります。 |
| 4行目 | 通常は0としてください。接続するパソコンのIPアドレスを、DHCPが自動的に割り当てます。 |

(注) APモードで使用する場合は、アクセスポイントとなる DACS-9600KWF の IPアドレスが **192.168.1.10** のみとなります。接続するパソコンが、他のネットワークにも接続していて、そのネットワークのアドレスが 192.168.1.XXX となっている場合は、APモードでは使用できません。この場合は、次に解説の端末モードで使用してください。

(2) 端末モードで使用する場合

端末モード用ファイル `DACS9600KWF_ST.c01` のファイル名を、`DACS9600KWF.c01` に変更します。

ファイルの内容をメモ帳などのテキストエディタで編集し保存します。

データ	コメント	
2	AP 1 / STA 2	行数とデータの行位置は変更しないでください。 各行の後半はコメントです。データとコメントとは、1個以上のスペースで分離しています。 各行のデータには、先頭から終了位置までスペースを含めないでください。 コメント欄の記述は自由です。
xxxxxxx	SSID	
xxxxxxx	Passphrase	
1	DHCP 0 / Static 1	
192.168.0.1	DNS IP Address	
192.168.0.1	Gateway IP Address	
255.255.255.0	IP Address Mask	
192.168.0.40	Device IP Address	

- | | |
|-----|---|
| 1行目 | 端末モードを指定します。2のまま変更しないでください。 |
| 2行目 | 接続する無線LANルータの SSID を指定します。
ご使用の無線LANルータにシール添付などで表示してあります。 |
| 3行目 | 接続する無線LANルータのセキュリティキーを指定します。
ご使用のルータでは、プロテクトキー、暗号化キーという名称にもなっています。 |
| 4行目 | 固定IPアドレスで使します。1のまま変更しないでください。 |
| 5行目 | DNSアドレス 通常は無線LANルータのアドレスを指定。 |
| 6行目 | デフォルトゲートウェイ 通常は無線LANルータのアドレスを指定。 |
| 7行目 | このまま変更しないでください。 |
| 8行目 | DACS-9600KWF に割振るIPアドレスを指定してください。

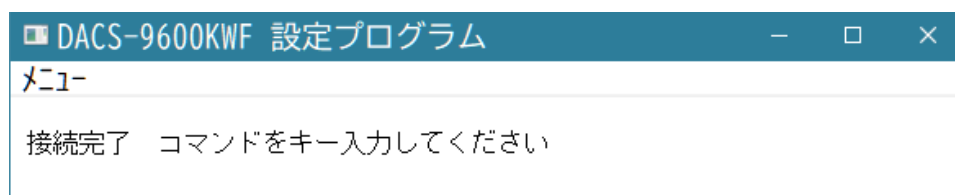
192.168.xxx.yyy
xxx は無線LANルータと同じ値とします。
yyy は空いているアドレスを指定します。
無線LANルータのDHCPが自動割当をする範囲も避けてください。

(重要) 8行目に指定したアドレスは、2. 3項の設定実行後に、パソコンの hostsファイルに登録します。 |

2.3 設定実行

設定用実行ファイル D96KWFCOL.exe のあるフォルダに、適切に編集した設定ファイル DACS9600KWF.col があることを確認してください。

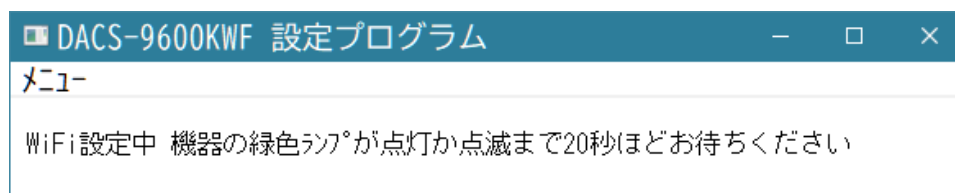
- ① DACS-9600KWF の電源を入れて、緑色のランプが、毎秒2回程度の規則的な点滅となるまで、数秒間、待ってください。
- ② D96KWFCOL.exe を起動すると、数秒後に、次の画面となります。



接続完了の画面表示があれば、DACS-9600KWF が初期状態でなくても、以下③の設定操作が可能です。

「接続できません」と表示される場合は、設定済みのIPアドレスをキー入力してください。再び「接続できません」と表示される場合は、2.1項の手順を見直してください。

- ③ 続いて S# とキー入力します。
(半角で大文字の S に続いて # と入力。Enterキーを押す必要ありません)
次の画面になります。



- ④ DACS-9600KWF の緑色ランプが点灯または点滅となるまで、20秒ほど待ちます。
この間、DACS-9600KWF の電源は切らないでください。

DACS-9600KWF の緑色ランプが点灯または点滅となって後に、D96KWFCOLプログラムを終了します。
DACS-9600KWF の電源を切断します。

これにて設定終了です。

これ以降、DACS-9600KWF は、設定ファイルの内容に無線LAN設定が変わっていませんので、このまま、②項のテストをしても、「接続できません」という表示になります。

パソコンの hostsファイルに、新しいIPアドレスを登録するなど、パソコン側の設定を変更する必要があります。次の「動作確認」に進んで下さい。

3. 動作確認

3. 1 hostsファイルの編集

アプリケーションソフトは、DACS-9600KWF をホスト名で接続します。
このとき名前解決（ホスト名からIPアドレスへの変換）が必要となります。
名前解決の環境がない場合は、この名前解決にhostsファイルを使用します。

Windowsパソコンの hostsファイルの場所

```
c:\¥Windows¥System32¥drivers¥etc
```

hostsファイルの内容

```
# Copyright (c) 1993-2009 Microsoft Corp.
#
# This is a sample HOSTS file used by Microsoft TCP/IP for Windows.
#   ⋮   中略
#   ⋮
# localhost name resolution is handled within DNS itself.
# 127.0.0.1 localhost
# ::1 localhost
192.168.1.10 DACS9600KWF ← 最後にこの例のような1行を追加します
```

編集にはメモ帳などのテキストエディタを使用します。
Cドライブ上で編集できないときは、USBメモリなどほかのドライブにコピーして
編集後、再びCドライブの元のフォルダに、管理者権限にてコピーしてください。

追加する1行の例

```
192.168.1.10 DACS9600KWF
(1)          (2)
IPアドレス   デバイス名
```

(1) IPアドレス

- ・ APモードで使用する場合
IPアドレスは **192.168.1.10** のみの設定となります。
パソコン側のIPアドレスは、DACS-9600KWF のDHCP機能にて、
自動的に、**192.168.1.100** に割振られます。
- ・ 端末モードで使用する場合
IPアドレスは 2. 2 (2) 項で設定したアドレス となります。

(2) デバイス名

- ・ サンプルプログラムを使用する場合 DACS9600KWF
- ・ 実稼働のためのプログラムを作成する場合
DACS9600KWF 以外の任意のデバイス名でプログラミングをし、
hostsファイルに、プログラミングで使用するデバイス名を追加登録して
ください。サンプルプログラムも動作させたい場合は、同じIPアドレスで、
次の例のような2行を登録します。
2行登録の例 192.168.0.40 DACS9600KWF
 192.168.0.40 (任意のデバイス名)

3. 2 動作確認

(1) APモードの場合

2. 1 項 (1) ~ (3) の接続および確認方法と同じです。
SSID と セキュリティキー は、設定ファイルに指定した内容と一致させます。

(参考) DACS-9600KWFのIPアドレスは 192.168.1.10 になっていますので、
2. 1 (3) 項で D96KWFCOL.exe は、初期設定にて自動接続します。

(2) 端末モードの場合

- ① パソコンを無線LANルータのあるネットワークに接続します。
- ② DACS-9600KWF の電源を入れて、緑色ランプが毎秒2回程度の規則的な点滅となるのを待ちます。
- ③ 2. 1 項 (3) と同じ手順で接続の確認を行います。

(参考) hostsファイルのデバイス名に DACS9600KWF を登録している場合、
D96KWFCOL.exe は、ホスト名で自動接続します。
hostsファイルのデバイス名に DACS9600KWF 以外を登録している場合、
D96KWFCOL.exe では、IPアドレスを入力して接続してください。

4. 初期状態（出荷時の状態）に戻す

無線接続ができていることが確実な場合は、初期状態でなくても、2. 3項の設定実行で、設定変更が可能です。

無線接続ができていない場合は、以下の操作で、出荷時の初期状態に戻すことができます。

デジタル入力の bit22 と bit23 を使用します

デジタル入力の bit22 と bit23 は初期設定用の入力となっています。

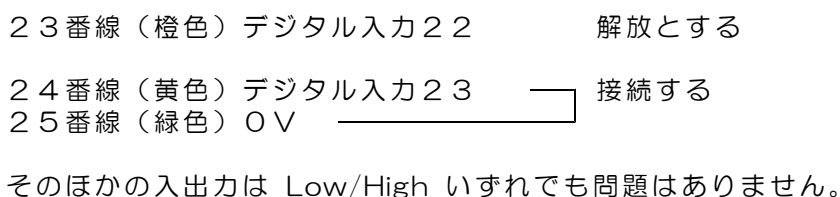
（注意）通常使用時は、デジタル入力の bit22 と bit23は 解放状態としてください。

初期状態に戻す手順

- ① DACS-9600KWF の電源を必ず切っておきます。
- ② デジタル入力 bit23 をOVに接続し、Low側とします。
絶縁デジタル入力の場合も同様にOVに接続し、Close側とします。
端子台付き絶縁デジタル入力の場合は、テスト用ディップスイッチをONにします。

デジタル入力 bit22 は必ず解放にしておきます。

標準添付のデジタル入出力ケーブル50Pを使用する場合の接続



- ③ DACS-9600KWF の電源入れます。
- ④ 黄色ランプが点灯します。緑色ランプは消灯したままとなります。
約20秒後、緑色ランプが点灯または点滅となります。
以上にて、初期状態に戻ります。
- ⑤ DACS-9600KWF の電源を切ります。
（重要）その後、デジタル入力 bit23 は、必ず解放状態に戻してください。

（完）

製造販売

ダックス技研株式会社

ホームページ

<https://www.dacs-giken.co.jp>

DA96KWFDIO20A11A